

Next+

Move forward at your own pace

大同大学のご紹介

D/U 2021年度求人のための大学案内

この足で
憧れへ一歩前進



大同大学
DAIDO UNIVERSITY

表紙デザイン：伊藤優花
(情報デザイン学科メディアデザイン専攻)

DU就職力

大同大学では「実学主義」の教育と研究を通じて、人間力を土台に社会産業界で発揮でき得る「実践力」を身につけます。4年間切れ目なく成長を続けた結果、広い業界から必要とされる人材となる。それが「DU就職力」です。

**教養・専門・キャリア3分野の
相乗効果と産業界との太いパイプにより、
希望の就職が叶う**

講義の中でも、課外においても常に「自己の能力理解と開発」をテーマに置き、学生は自身の力をどのような場面で生かすことができるかを確認しながら学びを進めます。就職では、OBOGが培ってきた産業界での評価と実績を足がかりに、その期待に応える在学生の「真の能力への評価」が高い就職率へと繋がっています。

就職率
97.8%
(2019年度卒業生)

[機械・電気系]

98.6%

[建築系]

98.8%

[情報系]

96.4%

就職実績

大同大学の2つの学部と11の学科・専攻コース、そして大学院はそれぞれ「実学主義」に根差し、社会のさまざまな分野で産業や生活の発展に貢献し得る能力を身につけます。その結果、全ての学部が横断的に、広い業界において活躍しています。

業界アイコン



工学部 School of Engineering

機械工学科



[職種]

- 研究開発職
- 設計・技術職
- システム・ネットワークエンジニア職
- 生産・施工管理職
- 行政事務職(専門職)

建築学科 建築専攻／インテリアデザイン専攻



[職種]

- 建築・土木設計職
- 生産・施工管理職
- コンサルティング職
- 営業・販売職

機械システム工学科



[職種]

- 研究開発職
- 設計・技術職
- システム・ネットワークエンジニア職
- 生産・施工管理職
- コンピュータ関連職

建築学科 土木・環境専攻



[職種]

- 建築・土木設計職
- 生産・施工管理職
- コンサルティング職
- 営業・販売職
- 行政事務職(専門職)

電気電子工学科



[職種]

- 研究開発職
- 設計・技術職
- コンピュータ関連職
- 生産・施工管理職
- 行政事務職(専門職)

建築学科 かおりデザイン専攻



[職種]

- 研究開発職
- 生産・施工管理職
- 建築・土木設計職
- 営業・販売職

情報学部 School of Informatics

情報システム学科



[職種]

- システム・ネットワークエンジニア職
- プログラミング職
- コンピュータ関連職
- 総合事務職
- 配送・物流関連職

情報デザイン学科 メディアデザイン専攻



[職種]

- グラフィックデザイン職
- CGデザイン職
- 設計・技術職
- システム・ネットワークエンジニア職
- 営業・販売職

情報デザイン学科 プロダクトデザイン専攻



[職種]

- プロダクトデザイン職
- 設計・技術職
- システム・ネットワークエンジニア職
- 生産・施工管理職
- 営業・販売職

総合情報学科 経営情報専攻



[職種]

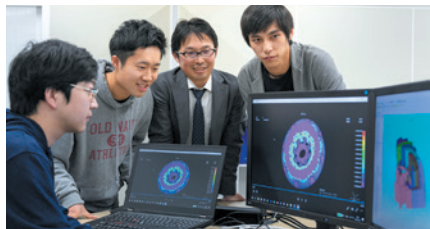
- 営業・販売職
- 配送・物流関連職
- 生産・施工管理職
- システム・ネットワークエンジニア職
- 総合事務職

DU成長力

大同大学では、入学から卒業まで個人の成長を支え促進させる様々な取り組みがあります。学生はその機会に触れ、環境の中で仲間や教授と考えを深めながら、社会人基礎力である「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」を実践的に修得します。

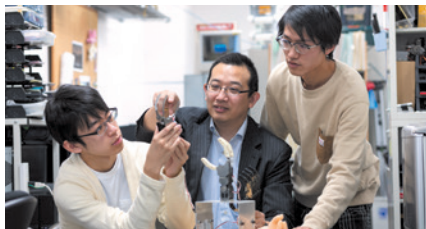
産官学連携

大同大学では、産業界・行政などと一体となってプロジェクトに取り組み、新製品・新技術・新事業の創出を図る「産官学連携」を積極的に進めています。産業界との深い絆を持つ本学では、さまざまな企業や研究機関との豊富な事例があります。



モータ研究に携わる 技術者の育成を担う

大同特殊鋼(株)×電気電子工学科加納研究室
モータ研究の最前線基地として、2018年「大同大学モータ研究センター」を開設。次世代のモータ開発研究に取り組んでいます。



使用者の抵抗感が少なく、 より安価な義手の開発に取り組む

(株)東郷製作所×機械システム工学科橋口研究室
不慮の事故、疾病などで手を失った人のための義手の開発に、自動車部品製造の高度な技術を応用し協働で開発を進めています。

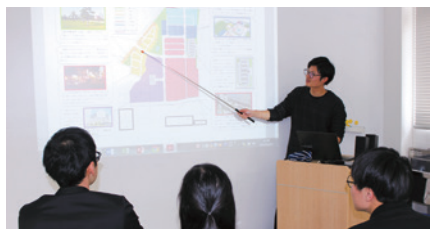


地元の企業と連携し、ものづくりの サイクル・ダイナミズムを体感する

AnjoHeartsプロジェクト×情報デザイン学科岡田研究室
安城市の商工会議所を中核とした異業種連携プロジェクトとコラボレーションしオリジナルグッズを制作する試みを行っています。

アクティブラーニング

学生が主体となって、能動的に学ぶ授業の一つで、学生自らが、テーマを探す、体験する、調査・分析する、発表するなどの作業に取り組みPDCAを実践することで、自主性や社会人としての基礎力を醸成します。



まちづくりデザイン実習

工学部建築学科土木・環境専攻
実際の地方都市をテーマに、具体的な都市開発のプランニングを行い都市の課題解決方法を見出します。



メディアクリエイティブ実習D

情報学部情報デザイン学科
グループを組み、テーマ決めから準備・撮影・編集などすべての作業を協力して進め、一つの作品を作り上げます。

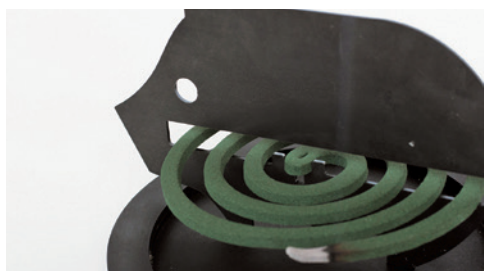


経営情報プロジェクト演習

情報学部総合情報学科経営情報コース
自らテーマを決め、情報を集めて分析・発表する過程で、社会と関わりながら難しさと必要性を実感的に学習します。

X(クロス)ラーニング

産学、学科専攻、学年を超えて交流し、課題に取り組むことで学生のデザインの感性とスキルを磨くプロジェクトが「X(クロス)ラーニング」です。先進的な企業とのコラボレーションによって創造される新しい価値を体感できる、「実学精神」をかかげる大同大学ならではの新たな教育・研究取り組みです。



委員会・クラブ・サークル活動

運動系や文科系などクラブ活動も盛ん。学生生活を支える委員会活動も学生の「考え実行に移す力」を育みます。



DUサポート力

1 年次

- 就職力アップ 세미나 I・II
 - ・ 社会で求められる力とコミュニケーションのポイントを知る
 - ・ 大同生が活躍できる仕事を知る



キャリア支援の初歩段階として、「自分への『気づき』」を促進するため、1年生前期から2年生後期まで「就職力アップセミナー」を開催し、「自己分析・自己理解」、「社会で求められる力」、「職業観」を学びます。

また、3年生が参加する企業対面式のイベントにも積極的に参加を勧め、早期から就職に対する意識とアンテナを高くする取り組みを行っています。

- 資格支援講座

2 年次

- 就職力アップ 세미나 III・IV
 - ・ 自分ならではのPRをするために行動する
 - ・ インターンシップ参加のための準備を行う

- 資格支援講座

- 学科別業界研究会
- フォローアップ講座
- インターンシップ(学外研修)



学生が在学中に、自らの学科・専攻での学びを生かした将来のキャリアに関連する職業体験を、キャリアセンターの仲介により一定期間(約10日間)、企業で実施し単位を認定します。

また、近年企業に留まらず行政でも実施が盛んな短期インターンシップも、学生に周知・アドバイスをを行い、学生は職業体験から「職業観」「労働観」を養成します。

資格支援講座

学びの成果を求め、社会に求められる能力を身につけます。

卒業後、社会人となり働くことに備えて、より高い能力を身につけるため、「資格取得講座」「スキルアップ講座」「就職対策講座」など全39講座を開講。学生の関心も高く、学業と並行して資格取得に向けた学びを進めるなかで、より専門性を深め、「実践的な知識」の向上にもつながっています。また、目的を持ちその実現のために努力し、結果に結びつける過程を経て、社会に出るための自信を身につけ、社会で必要とされる多様な知識とスキルを磨きます。

【対策講座で目指せる主な資格】

- CAD利用技術者(2級)
- インテリアコーディネーター(1次試験)
- 宅地建物取引士
- カラーコーディネーター(アドバンス・スタンダードクラス)
- CG検定ベーシック(クリエイター・Webデザイナー)
- 機械設計技術者(3級)
- 二級建築士
- 秘書技能検定(2級)
- 危険物取扱者(乙種第4類)
- 第一種・第二種電気工事士
- 第三種電気主任技術者



- 臭気判定士
- 基本情報技術者
- TOEIC対策
- ウェブデザイン技能検定(3級)
- インテリアプランナー
- 機械・プラント製図技能(3級)
- ITパスポート
- 3次元CAD利用技術者(2級)
- 応用情報技術者
- 毒物劇物取扱者
- MOS試験(Word・Excel)



- 大学院生限定ガイダンス

- 保護者向け就職セミナー

学生の保護者に向けて、就活生を持つ保護者が知っておきたい就活ルールや心構え等を伝えています。

- 個別面談・相談



- 資格支援講座

「実学主義」の教育と研究を通じて培った成果を産業界と社会で発揮する。それが「就職」です。

大同大学では、産業界との太いパイプを生かした、さまざまなサポートプログラムやイベントを用意しており、保護者・教員・キャリアセンターが一体となり就職をサポートできる体制を提供しています。

3年次

●学内合同業界研究会



「大同生を採用したい!」と考える500社を超える企業・団体が参加する学内就職活動最大のイベントです。参加の約5割の学生がここでの出会いをきっかけとして、選考・就職とつながっており、企業様からも高い評価をいただける機会となっています。

●学内地元企業 業界・企業研究会

愛知県産業振興課や地元商工会議所とタッグを組み、独自の技術や特色を持つブランド企業とのマッチングを図るイベントです。

●OBOG業界・仕事研究会

各業界に就職し活躍するOBOGと、採用に関わるご担当の方を招き「努力」「やりがい」などを語っていただくことで、学生は「能力を高め働くこと」「能力を最大限に活かすこと」について理解し業界研究における視野を広げます。

●就職ガイダンス



4月から継続的に就職ガイダンスを開催。これまで「就職力アップセミナー」で吸収してきた基礎力をもとに、実践的な就職活動のテクニックを修得します。

4年次

●学内合同企業説明会



●学内個別企業説明会 (オンライン&対面)

企業と学生を直接つなぐ取り組みとして、春から秋にかけて実施。(大学ホームページから申し込み)



●就職内定者ガイダンス

労働法の基礎知識を学び、早期退職を避けるための心得について理解を深めます。



学長メッセージ

企業の皆様へ

大同大学は1939年に設置された大同工業学校を基に、1964年中部産業界の要請と支援によって大同工業大学として設立された大学です。福澤桃介翁を学祖として、終始一貫、社会の要請に応える実学の高等教育機関として努力してきました。

2009年、創基70周年を機会に、急速に変化する産業と社会の要請に応え、教育研究の幅を広げる意味を込めて、大同工業大学から大同大学へと校名を変更しました。2014年4月には創立50周年を迎え、2015年には創立の原点にもどり、大学の理念として「実学主義」を掲げることにしました。

本学は学生一人ひとりの才能を最大限に引き出し、入社後は企業に喜ばれ、社会に役立つ人材となることを目標に全教職員が力を合わせて教育活動を行っています。幸いにも大学創立以来、企業の皆様のご理解とご支援を頂き、多くの卒業生を採用頂きましたことに心より感謝致します。

私どもの努力の結晶である本学学生に対し、これからも暖かいご支援を賜りますことをお願いすると同時に貴社のご発展をお祈り致します。



学長 神保睦子

JIMBO MUTSUKO

PROFILE

1991年3月、名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程単位取得退学。その後、大同工業大学に赴任、工学部電気電子工学科教授、大学院工学研究科修士課程電気・電子工学専攻専攻長、電気電子工学科学科長などを経て、2017年4月、大同大学学長に就任。日本磁気学会副会長などを歴任。専門は、電気電子工学。

キャリアセンタースタッフ

社会経験豊富なスタッフが学生一人ひとりを見守りサポート

ひと口に「就職活動」と言っても、その道のりは長く、その過程・場面で学生が直面する問題もさまざまです。キャリアセンター常駐のスタッフは総勢10名。それぞれ豊富な知識と専門の資格を有しており、学生一人ひとりの個性を尊重し、強みを生かすサポートを行うとともに、指導教員や就職担当教員と連携しながら、学生の納得感ある就職のため、学年に関わらず見守り、支え続けています。



センター長
溝口 正信
(機械システム工学科/教授)



副センター長
岡田 心
(情報デザイン学科/准教授)

錦 織 整 (キャリア支援室長)

若 林 貴 昭 (主査)

末 永 知 子 (書記)

平 山 典 子 (書記)

岡 松 久 朗 (特別嘱託職員)

藤 田 祐 子 (キャリアアドバイザー)

森 本 曜 子 (キャリアアドバイザー)

近 藤 理 恵 (キャリアアドバイザー)

加 藤 あ や 子 (キャリアアドバイザー)

後 藤 由 美 (キャリアアドバイザー)



就職指導担当

蔦 森 秀 夫 (工学部 機械工学科)

小 森 和 武 (工学部 機械システム工学科)

大 澤 文 明 (工学部 電気電子工学科)

船 橋 仁 奈 (工学部 建築学科)

樋 口 恵 一 (工学部 建築学科)

棚 村 壽 三 (工学部 建築学科)

君 山 博 之 (情報学部 情報システム学科)

上 岡 和 弘 (情報学部 情報デザイン学科)

岡 田 心 (情報学部 情報デザイン学科)

小 澤 茂 樹 (情報学部 総合情報学科)

求人受付NAVI



求人受付NAVI

<https://www.kyujin-navi.com/uketsuke/>

- 参加大学は「参加大学一覧」よりご確認ください。
- すでにID・パスワードをお持ちの場合は、同じIDでご利用いただけます。
- 初めてご利用いただく場合は、新規ID発行「初めてご利用の場合はこちら」より登録を行ってください。

送信完了までの流れ

MENU

求人登録

求人票を登録します

登録内容確認

登録した内容を確認します

地区選択

送信大学の地区を選択します

送信大学選択

送信大学を選択します

学科選択

送信大学ごとに学科指定をします

送信完了

これで送信完了です

ID、パスワードを
取得済みの場合は
こちらから

初めてご利用の
場合はこちらから

機械工学科

材料・機械・流体・熱の4力学をベースに、
工業の王道である「機械」の
基礎から応用までを学び、
日本の産業界を支える人材を育成する。

産業界に貢献する中堅機械技術者を養成して半世紀

機械工学科は1964年に設置以来、真剣にものごを感じ取ろうとする意欲、実直に仕事に打ち込み、やる気がある学生を育てて、中部圏の企業から高い信頼を得ています。

専門分野の素養を拡げる基礎教育

機械工学の3大基幹科目である、材料の強度と設計・材料と加工・エネルギーの分野に分けて基礎知識を身につけ、機械の仕組み、構造および機能などを分析・設計および製造するために必要な専門基礎教育を徹底させています。

問題の探求や解決能力を身につけさせる

高度なコンピュータ機能を活用した機械設計の基礎から応用までを3次元ハイエンドCADやシミュレーション解析ソフトおよびCAMによる機械加工などを利用した実践的な演習によって創造的な思考をもったデザイン能力を発揮でき得る知識と応用技術の活用方法について教授しています。

実践教育によって自律性の豊かな技術者の育成

実験・実習、演習や卒業研究・卒業設計などのゼミ教育を通して、学びの知識と技術を駆使し、これからの時代に必要なる自ら学び、考え、行動する「自律性」を持った学生の育成をめざしています。

主な専門教育科目

- 機械力学
- 材料力学
- 熱力学
- 流体力学
- 生産加工
- 機械材料学
- 制御工学
- 機械設計・製図

専門教育科目に関する資格

- 機械設計技術者
- CAD利用技術者

専任教員紹介



神崎隆男 (教授/工学博士)

- 専門分野/環境流体力学
- 研究課題/大気・海洋中での乱流輸送現象に関する研究



白石裕之 (教授/博士(工学))

- 専門分野/熱流体力学
- 研究課題/コンピュータを用いた流れ・熱の解析と可視化、流体音響に関する研究、宇宙レーザー推進システムの基礎的研究



高田 健 (教授/博士(理学))

- 専門分野/固体物性、材料工学
- 研究課題/金属中の微量元素の存在状態と強化機構への影響の研究



田中浩司 (教授/博士(工学))

- 専門分野/材料組織学、接合加工学
- 研究課題/速度論に基づく材料組織と熱加工プロセスの最適化に関する研究



薦森秀夫 (教授/博士(工学))

- 専門分野/板材成形、プレス成形シミュレーション
- 研究課題/プレス成形シミュレーションの高精度化



徳納一成 (教授/工学博士)

- 専門分野/材料工学
- 研究課題/鉄鋼及び非鉄金属材料の機械的性質に関する基礎的研究



西脇武志 (教授/博士(工学))

- 専門分野/塑性加工学
- 研究課題/塑性加工法、材料試験の高度化、CAEの利用技術に関する研究



前田安郭 (教授/博士(工学))

- 専門分野/鋳造プロセス工学
- 研究課題/鋳造CAEにおける湯流れ凝固解析の精度向上に関する研究



杉谷 啓 (准教授/博士(工学))

- 専門分野/精密工学、ローターダイナミクス
- 研究課題/工作機械用ステージの超精密位置決めに関する研究、流体軸受を用いた高速スピンドルの高速安定性向上に関する研究



坪井 涼 (准教授/博士(工学))

- 専門分野/数値流体力学、トライボロジー
- 研究課題/航空機における着氷現象に関する研究、テクスチャ表面における潤滑液の流動状態の調査



町屋修太郎 (准教授/博士(工学))

- 専門分野/材料力学、材料強度学
- 研究課題/X線・中性子回折を用いた応力・ひずみ測定、超伝導線材の性能およびひずみ特性評価



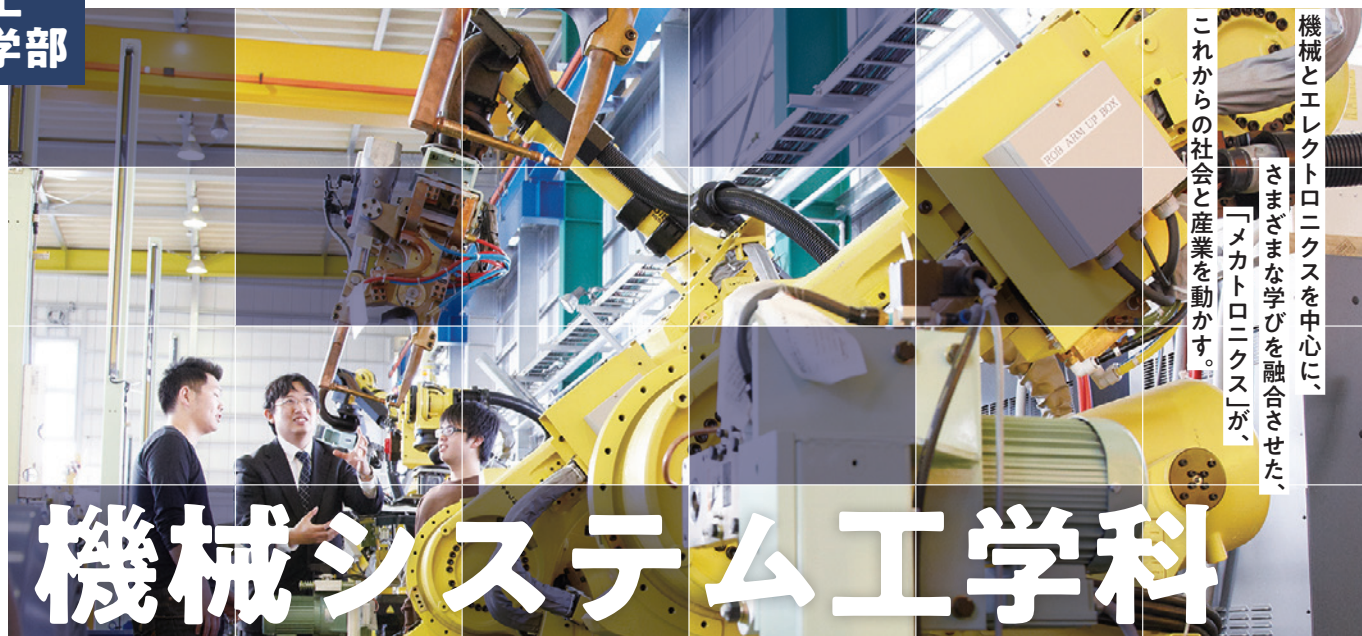
萩野将広 (講師/博士(工学))

- 専門分野/生産加工学
- 研究課題/難削材の被削性に関する研究、切削工具の開発研究、生産性向上に寄与する最適化に関する研究



宮本潤示 (講師/博士(工学))

- 専門分野/表面加工学
- 研究課題/プラズマ窒化に関する研究、硬質薄膜に関する研究



機械とエレクトロニクスを中心に、
さまざまな学びを融合させた、
「メカトロニクス」が、
これからの社会と産業を動かす。

機械システム工学科

機械・電気・情報をカバーする広い視野！

機械システムやロボットを考えるためには、機械・電気・情報にまたがる幅広い専門分野の知識が必要です。システムを構成したりロボットを作ったりする過程を通し必要な事項から順次学習を積み上げることで、工学の基盤領域における広い視野と技術のポイントを押さえる力を養成しています。

“ものづくり”だけでなく、操る力も！

CAD/CAM/CAEシミュレーション解析を利用した設計、工作・加工、プログラミング、制御、センサーなど、機械システムやロボットを題材に活用して、現代の“ものづくり”技術だけでなく“ものを操る”技術まで体系的に教育しています。

機械システム、ロボットの豊富な実習経験と実行力！

機械システムの要素技術や産業用ロボットを用いた実習に多く時間を割く実践的なカリキュラムにより、その基本構造・機構に関する知識から先端技術まで、そして安全に関する理解も着実に身につけています。学生は、機械・電気・情報という工学の広い領域において、自ら設計や製作ができる行動力があります。

主な専門教育科目

- 材料力学
- 熱力学
- CAD/CAM/CAE演習
- 自動車工学
- 流体力学
- 機械力学
- メカトロニクス工学
- コンピュータビジョン

専門教育科目に関する資格

- 機械設計技術者
- CAD利用技術者
- 基本情報処理技術者
- 産業用ロボットの教示等の特別教育(認定)

専任教員紹介



大嶋和彦 (教授/工学博士)

- 専門分野/メカトロニクス、制御工学
- 研究課題/圧電素子を利用したセンサおよびアクチュエータの開発、3Dプリンタを利用した創造製作



尾形和哉 (教授/博士(工学))

- 専門分野/制御理論、ロボット運動制御
- 研究課題/マニピュレータの接触作業解析、自律移動ロボットの知能化



小里泰章 (教授/博士(工学))

- 専門分野/流体工学、計測工学
- 研究課題/物体まわりの流れおよびはく離流れの制御、自動車の空力走行安定性向上に関する研究



小森和武 (教授/工学博士)

- 専門分野/塑性力学、破壊力学
- 研究課題/金属加工における延性破壊過程の数値解析



坂倉守昭 (教授/博士(工学))

- 専門分野/制御システム工学、研削加工
- 研究課題/インテリジェント制御システムの研究、ロボットの動作学習の研究、研削加工のシミュレーション技術の開発



溝口正信 (教授/博士(工学))

- 専門分野/メカトロニクス、画像処理、組込み制御システム
- 研究課題/画像処理によるロボットの知能化とそれを実現する組込み制御装置の開発



石田敏彦 (准教授/博士(工学))

- 専門分野/流体工学、流体シミュレーション
- 研究課題/小型ヘリ安定飛行に関する解析、新幹線車両の空力解析、魚型ロボットの開発



井原禎貴 (教授/博士(エネルギー科学))

- 専門分野/熱工学、燃焼工学、内燃機関工学
- 研究課題/予混合圧縮自着火燃焼の現象解明と制御、非貴金属材料を用いた燃焼排ガス浄化



篠原主勲 (教授/博士(工学))

- 専門分野/計算力学
- 研究課題/宇宙衛星展開構造物シミュレータの開発/スポーツ計算工学/最適化



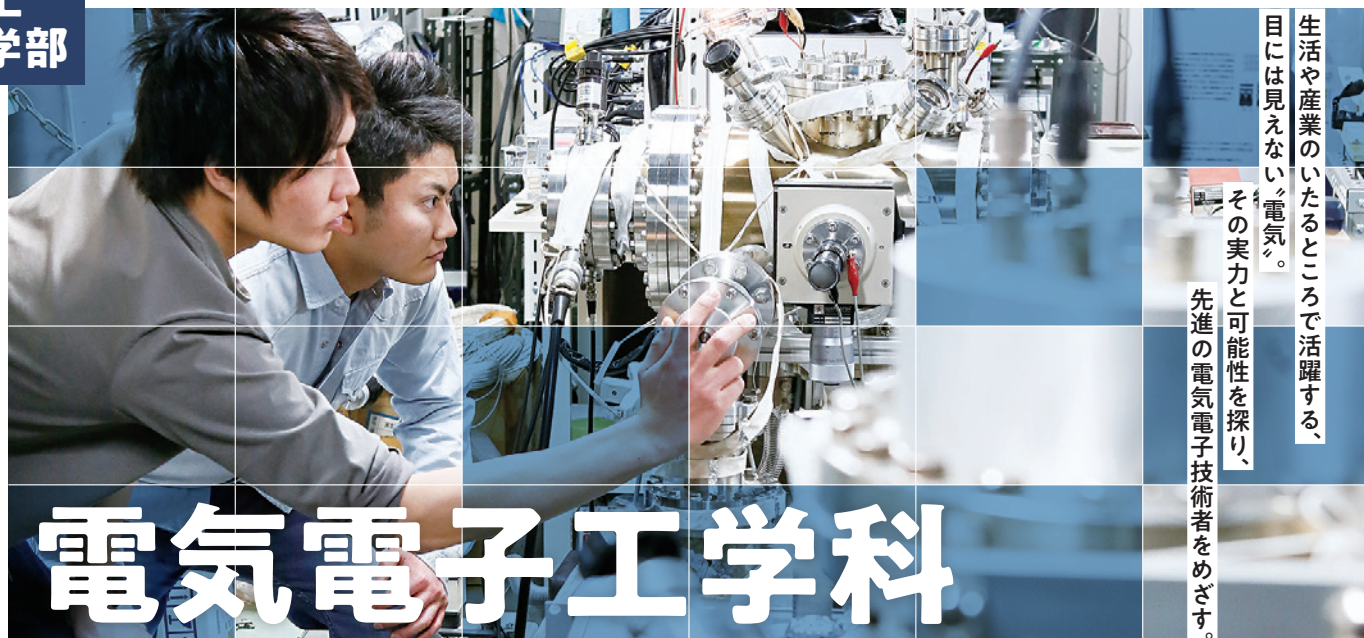
吉田昌史 (准教授/博士(工学))

- 専門分野/材料工学
- 研究課題/軽金属の表面改質に関する研究、放電現象を利用した表面処理技術の開発



橋口宏衛 (講師/博士(工学))

- 専門分野/ロボット工学
- 研究課題/冗長自由度アームの位置と力のハイブリッド制御、劣駆動関節型倒立振子の安定化制御、ドローンの姿勢安定化制御



生活や産業のいたるところで活躍する、
目には見えない「電気」。

その実力と可能性を探り、
先進の電気電子技術者をめざす。

電気電子工学科

「実学主義」の理念のもと基礎を大切に技術者の育成

社会のニーズは絶えず大きく変化し続けています。その中、中堅技術者として企業を支える人材を育成するため、「基礎の力」を重視した教育を行っています。「基礎の力」は社会に出てから生涯にわたって、学び成長をし続けるための基礎となると考えています。

自動車の電動化時代をリードする人材の育成

急速に進む自動車の電動化に対して、モータやインバータに関係する基礎教育を行っています。回路や電気磁気学のような基幹科目に加え、エネルギー変換、半導体、制御などの応用科目を学べる体制です。さらに研究室では、それらの先端的な技術に触れ、実践的な技術者を育成しています。

新しい電力エネルギーシステムを支える人材

太陽光発電や風力発電などの分散電源が基幹電源の一つとなり、IT技術と融合したスマートな電力システムが現実となりつつあります。一方、地震や台風など自然災害による電力インフラの脆弱性が大きな課題となっています。このような多様なミッションにこたえることのできる確実な基礎力を備え柔軟な思考を持つエンジニアを養成しています。

電気電子デバイスの基礎を支えるナノテク技術人材

ナノテクノロジーはエネルギー問題や環境問題に対するアプローチ技術として注目されています。また電力エネルギーや制御分野においても様々な機能を有するナノテク材料の開発は欠かせません。ナノテク材料として用いられる半導体・有機材料・グラフェンなどの新しい機能性材料を中心とする物性を原子や電子のレベルで理解し、環境にやさしいデバイス開発・製造技術を担える人材を育成しています。

主な専門教育科目

- 電気電子数学
- 電気回路理論
- 電気磁気学
- 電子回路
- 電気電子材料
- 電子物性
- 半導体デバイス工学
- プログラミング
- デジタル回路
- コンピュータ工学
- 制御工学
- パワーエレクトロニクス
- 電気エネルギー発生／変換工学
- エネルギー伝送工学

専門教育科目に関する資格

- 電気主任技術者(第1種～3種)
- 電気工事士
- 陸上無線技士

専任教員紹介



赤池宏之 (教授／博士(工学))

■専門分野／超伝導エレクトロニクス、超伝導スピントロニクス
■研究課題／超伝導電子デバイスの研究、低消費電力超伝導回路の研究



植田俊明 (教授／博士(工学))

■専門分野／電力システム、高電圧工学、雷サージ解析
■研究課題／電力システムの耐雷対策に関する研究



大澤文明 (教授／博士(工学))

■専門分野／電子制御、電磁アクチュエーター
■研究課題／多自由度アクチュエーターの研究、インバータ応用の研究、制御駆動系の開発

就職指導担当



川福基裕 (教授／博士(工学))

■専門分野／モーションコントロール、振動制御
■研究課題／無線駆動車両を用いた車両パネ上振動制御、産業機器における振動抑制制御、微小振動運動時の摩擦挙動解析と摩擦外乱の抑制など



橋本雄一 (教授／博士(工学))

■専門分野／表面電子物性、環境工学
■研究課題／カーボン系触媒の研究、大気圧プラズマを用いた環境応用



山田 靖 (教授／博士(工学))

■専門分野／電子実装、回路、センサ
■研究課題／パワー半導体用電子実装に関する研究、半導体ガスセンサに関する研究



加納善明 (准教授／博士(工学))

■専門分野／電気機器、電力変換、制御工学
■研究課題／次世代自動車駆動用高出力密度モータの設計と制御、ハイブリッド自動車用モータの高効率制御に関する研究、モータの高精度トルク制御に関する研究

建築学科

建築専攻／インテリアデザイン専攻

建築の先にある豊かな社会のあり方を見つめて、知性と感性が融合した建築力を、第一線で活躍する教員と共に学ぶ。

「Dラーニング」による社会参画教育の実践

大同大学近隣の企業や住民の様々な要望に応えるかたちで、学生が自らの案を作成し、企業家や住民の方々とのコミュニケーションを通して案を実現していく「Dラーニング」（文部科学省現代GP採択）は、本学独自の教育です。この教育により、現実社会のなかでの実践力を養っています。

技術者としての倫理観を重視

現実社会のなかで技術者として活躍し、より良い地域社会を築いていくためには、技術者として高い倫理観が不可欠と考えます。この観点に立脚した教育を行っています。

実技科目の重視による職業意識の高揚

「建築設計」「構造実験」「材料実験」「CAD演習」「測量実習」など実技系の科目にも多くの時間を割り当てるとともに、「インテリアコーディネーター」をはじめとする各種資格の在学中取得を奨励し、職業意識の高揚に力を入れております。

プレゼンテーションの重視

創作系科目、実技系科目および演習系科目では、自らの思考やアイデアを他者に正確に理解してもらい実現していくために必要なプレゼンテーション力の育成に、力を入れております。

主な専門教育科目

- 建築構法
- 構造力学
- 構造設計演習
- 構造材料実験
- 建築材料
- 建築設計／インテリア設計
- 建築計画／インテリア計画
- 建築法規
- 建築史・遺産
- 環境工学
- 建築設備

専門教育科目に関する資格

- 建築士（1・2級・木造）
- 建築施工管理技士（1・2級）
- 土木施工管理技士（1・2級）
- インテリアコーディネーター
- 福祉住環境コーディネーター
- インテリアプランナー
- カラーコーディネーター
- キッチンスペシャリスト

専任教員紹介



宇野 亨（教授）

- 専門分野／建築計画、設計
- 研究課題／都市構造の発見、都市再生手法の提案、各種建築の研究、設計



萩原伸幸（教授／博士（工学））

- 専門分野／建築構造、構法
- 研究課題／空間構造の動的応答と非線形力学、振動学



武藤 隆（教授／修士（美術））

- 専門分野／建築計画、設計、インテリアデザイン
- 研究課題／美術館、ギャラリーなどの展示空間、国際展における展示空間



渡邊慎一（教授／博士（工学））

- 専門分野／建築環境工学
- 研究課題／室内外における居住空間の温熱環境評価



高橋 之（准教授／博士（工学））

- 専門分野／建築構造、耐震工学
- 研究課題／鉄筋コンクリート造部材の性能評価、地震被害に関する研究



高柳伸一（准教授／博士（工学））

- 専門分野／西洋建築史・都市史
- 研究課題／スペイン帝国（16-18世紀）の軍事建築と都市、近世の都市建設と築城に関する研究



中島貴光（准教授／博士（美術））

- 専門分野／建築設計・計画、インテリアデザイン、空間デザイン
- 研究課題／考現学的アプローチによる空間分析、舞台美術および空間デザイン手法に関する研究・提案



藤森 繁（准教授／博士（工学））

- 専門分野／建築材料・木質構造
- 研究課題／微・非破壊的手法による構造材の物性・耐久性の評価、伝統木質構造に関する研究



船橋仁奈（准教授／修士（芸術））

- 専門分野／建築計画・設計、インテリアデザイン、空間デザイン
- 研究課題／共有可能な価値観の発見・創出、対人関係による単位空間の考察・提案

就職指導担当



岡本洋輔（准教授／博士（学術））

- 専門分野／建築環境工学
- 研究課題／心理、生理計測に基づく光環境の快適性評価



米澤 隆（講師／博士（工学））

- 専門分野／建築設計、建築計画、建築企画、建築と社会
- 研究課題／人、社会という観点から、これからの建築思想、設計手法、建築空間を創造する



建築学科

土木・環境専攻

現場で見る、感じることを大切に現場主義を貫き、市民の視点で、50年100年生き続ける街を構想し、作り出す人材を育成。

総合力を持つ土木系技術者、都市整備プランナーとなるための能力を養成

自ら問題を分析し、考え、行動・解決する能力(エンジニアリングデザイン能力)や技術者としての倫理感を養成する科目を段階的に配置し、優れた土木技術者や都市整備プランナーとなるための能力を養成しています。

社会基盤施設の設計・管理能力の養成

都市施設・土木構造物の設計・施工・管理の基礎を学ぶとともに、景観や環境に配慮した設計・施工法、都市防災システム、維持管理手法など、様々な応用力を養い、実践的かつ先進的な土木技術者となる能力を養成しています。

都市・環境システムの設計・管理能力の養成

水管理や都市計画の基本を理解するとともに、河川等水環境の質・量両面からの適切な評価・管理手法やコンパクトシティ計画などの最新の都市整備手法を学び、これからの都市施設を適正に計画、管理できる専門能力を養成しています。

“まちづくり”を総合的に計画し、実施できる能力を養成

測量学やCAD、GIS等のスキル・技術も身につけ、“まちづくり”のさまざまな現場で活躍できる専門家として、実践的な活躍が期待できます。卒業と同時に、「測量士補」の国家資格が得られます。

主な専門教育科目

- 構造力学
- 水理学
- 地盤工学
- 地域・都市計画
- 測量学
- 道路空間設計
- 環境マネジメント
- 都市防災システム
- 交通計画
- GIS・VR基礎
- 都市開発プラン実習
- 技術者倫理

専門教育科目に関する資格

- 測量士・測量士補
- 技術士・技術士補
- コンクリート技士
- 土木・建築・造園・管工事施工管理技士
- ビオトープ管理士
- 再開発プランナー
- 公害防止管理者

専任教員紹介



嶋田喜昭 (教授/博士(工学))
 ■専門分野/交通工学、都市計画
 ■研究課題/交通ネットワークの質的評価、都市施設整備の環境評価



鷺見哲也 (教授/博士(工学))
 ■専門分野/流域水文学、河川工学
 ■研究課題/都市の水害安全度とまちづくり、河川環境の諸過程のモデル



棚橋秀行 (教授/博士(工学))
 ■専門分野/地盤環境工学、土質力学
 ■研究課題/室内模擬試験装置を用いた油による地下水汚染の浄化技術の開発



堀内将人 (教授/博士(工学))
 ■専門分野/環境工学
 ■研究課題/土壌中での有害物質の動態解析、環境リスク評価



木全博聖 (講師/博士(工学))
 ■専門分野/維持管理工学、コンクリート工学
 ■研究課題/社会基盤構造物の非破壊検査



樋口恵一 (講師/博士(工学))
 ■専門分野/都市交通計画、土木情報学
 ■研究課題/移動空間・サービスの評価、安全・安心なまちづくり

就職指導担当

建築学科

かおりデザイン専攻

私たちの暮らしに密接に関わっているが、
未解明要素が多い
「におい・かおり」の分野に挑み、
より良い生活環境をデザインする。

かおりデザイン専攻では、空間の快適性、食のおいしさ、人の心の状態に大きく関係する「におい・かおり」の基礎と「におい・かおり」の持つ役割に関する知識を修得し、「におい・かおり」を活用した豊かな生活がデザインできる力の取得を目標として、人材を養成しています。

具体的には次の5つの教育目標を掲げており、5つの目標を達成するための授業を展開しています。

- (1) におい・かおりについて、嗅覚の仕組み、においの測定・評価方法、においの除去方法、かおりの活用などについての知識を修得する。
- (2) においの測定・評価、成分の分析が行える技術を取得する。
- (3) 香料の特性を理解し、適切な香りの調香が行える技術を取得する。
- (4) 快適な生活環境を創造するための環境要素についての知識と測定技術を修得する。
- (5) 生理学・心理学の基礎的な知識を修得する。

授業内容は「においの測定・評価・分析」「消臭臭技術」「調香技術」「生活環境・食品」「ひとの心と身体」などから構成しています。1学年の定員が25名の比較的小規模な専攻であるため、授業では個々の学生が確かな知識と技術を身につけられるよう個別指導を重視し、基礎から段階的に発展させていく手法を取っています。

かおりデザイン専攻に関連する資格として、におい分野唯一の国家資格である「臭気判定士」取得を目指す学生が最も多く、次いで「アロマセラピー検定」「福祉住環境コーディネーター」「カラーコーディネーター」などの資格試験や「毒物劇物取扱者試験」を受験する学生が多くおります。建築士受験を目指す学生は、必要単位を修得することで、卒業時に二級建築士の実務経験要件を満たします。におい・かおりを専門に学ぶ全国初の専攻であるため、新しいことにチャレンジしたいという意欲あふれる学生が集まっています。

主な専門教育科目

- におい・かおり測定演習
- 消臭臭原理
- 食品とかおり
- 悪臭防止法
- においの心理生理
- かおり成分と調香
- 脱臭性能評価演習
- 嗅覚測定法
- 生活環境学
- 嗅覚の特性

専門教育科目に関する資格

- 臭気判定士
- ハーブコーディネーター
- アロマセラピー検定
- 福祉住環境コーディネーター
- アロマセラピスト
- アロマコーディネーター
- カラーコーディネーター
- 毒物劇物取扱者

専任教員紹介



光田 恵 [教授/博士(学術)]
■専門分野/生活環境のにおいの調査、評価、制御
■研究課題/介護環境のにおいの評価と制御、におい評価の個人差の検討、味覚と嗅覚の関係に関する検討



棚村 壽三 [准教授/博士(工学)]
■専門分野/におい測定、化学分析
■研究課題/住宅および自動車内のにおいの測定法の開発、においの成分分析

就職指導担当



颯田 尚哉 [教授/博士(工学)]
■専門分野/におい・かおり制御、実態調査
■研究課題/自然素材の香り成分の有効活用、屋外の種々の現場における臭気調査

専任教員紹介

跡部 昌彦

[元ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社]

- 専門分野/食品のおいしさとその評価方法、食品とかおり
- 研究課題/食品のおいしさとかおりの関係に関する研究、生活環境におけるかおりの活用方法の検討

一ノ瀬 昇

[ライオン株式会社]

- 専門分野/油脂・洗剤・化粧品工業分野の精油・香料科学
- 研究課題/かおりの心理生理研究、においケア研究



情報システム学科

IoTを中心に、ビッグデータ、AIなどを活用した次世代産業構築へ向けて、社会からもっとも求められている情報エンジニアを育成。

コンピュータ技術者の養成を狙いとした教育

2002年に誕生した情報学科では、応用電子工学科、電子情報工学科での教育経験と研究実績をもつ教員に、高度ソフトウェア技術、コンピュータネットワーク技術を専門とする教員を加えて、コンピュータ技術者を養成してきました。2008年には、より時代に即応したコンピュータ技術者を育成するために、情報システム学科に移行しました。今後も、コンピュータを扱う幅広い分野に人材を送り出していきます。

コンピュータ組み込みシステム技術

自動車、家電製品、情報通信機器などに組み込まれるコンピュータとそのソフトウェアに関わる技術者を養成するため、コンピュータ基礎からソフトウェア技術、システム技術まで幅広く学習しています。それらの技術を基盤にして「モノづくり」のパワーを支えます。

進化するネットワーク技術

今やネットワークは社会に必須なものとなっており、日々その進化を続けています。ネットワークの高度利用のため、ネットワークの構築・運用・制御技術、ネットワーク上に流通するコンテンツ製作技術、セキュリティ技術などを最新技術を含めて学習し、社会のネットワークインフラを支えます。

デジタルだから生まれる新しい発想と表現

人工物も自然物も、この世のすべてのものをリアルに描くことを追求し続けてきたCG。しかしデジタルならではの新たな表現を生み出す力と可能性も秘めています。そんな可能性を開く新しい発想と表現が、今求められています。

主な専門教育科目

- プログラミング
- データベース
- ディジタル回路
- ネットワークシステム
- インターネット工学
- コンピュータアーキテクチャ
- アルゴリズムとデータ構造
- ディジタル信号処理
- コンピュータセンシング
- コンピュータグラフィックス

専門教育科目に関する資格

- 基本情報処理技術者
- CAD利用技術者
- マルチメディア検定
- ITパスポート
- CG検定
- ITコーディネータ

専任教員紹介



朝倉宏一〔教授／博士(工学)〕
 ■専門分野／システムソフトウェア、ネットワーク
 ■研究課題／並列処理、分散処理、アドホック・ネットワークに関する研究



上田浩次〔教授／博士(工学)〕
 ■専門分野／情報処理、センサセンシング
 ■研究課題／道路交通の計測・監視におけるセンサ応用に関する研究



君山博之〔教授／博士(工学)〕
 ■専門分野／情報ネットワーク、並列分散処理、情報セキュリティ
 ■研究課題／並列分散処理による超高速データ処理技術の確立とその応用



桑野 茂〔教授／博士(工学)〕
 ■専門分野／情報ネットワーク
 ■研究課題／マルチサービスアクセスネットワーク、低遅延ネットワークに関する研究



竹内義則〔教授／博士(工学)〕
 ■専門分野／視覚情報処理、聴覚情報処理
 ■研究課題／3次元画像計測、音源定位、音源分離に関する研究



柘植 寛〔教授／博士(工学)〕
 ■専門分野／情報工学、音声音楽情報処理
 ■研究課題／音声・話者認識に関する研究、音楽検索に関する研究



不破勝彦〔教授／博士(工学)〕
 ■専門分野／制御工学
 ■研究課題／外乱抑制制御、極零点配置制御の設計法に関する研究



宮島千代美〔准教授／博士(工学)〕
 ■専門分野／運転行動情報処理
 ■研究課題／ドライバの運転行動のモデル化、運転の安全性評価に関する研究



荻野正雄〔准教授／博士(工学)〕
 ■専門分野／計算工学、高性能計算、線形ソルバ、並列アルゴリズム
 ■研究課題／工学諸問題に関する数値シミュレーションと高度利用技術



横手裕治〔准教授／工学博士〕
 ■専門分野／電子回路
 ■研究課題／ハードウェア記述言語によるディジタル回路の設計・製作



芋野美紗子〔講師／博士(工学)〕
 ■専門分野／自然言語理解、知識情報処理
 ■研究課題／言語知識ベースの自動作成、口語理解に関する研究



喜田健司〔講師／博士(芸術工学)〕
 ■専門分野／音響信号処理、情報通信
 ■研究課題／高次ΔΣ変調を用いたデータ圧縮、情報通信技術への応用



情報デザイン学科

メディアデザイン専攻

幅広い学びの中から自分の適性を発見し、
プロ仕様の創作環境で
専門分野の知識、スキル、感性を追求する。

グラフィックデザイン・Webデザイン

マスメディアから地域メディアまで幅広いメディアのコンテンツをデザインするグラフィックデザインに、インターネットのコンテンツをデザインするWebデザイン。ますます拡大する社会のニーズに応えるために、最新のデザイン教育環境を整備し、幅広い情報コンテンツのデザインができる個性豊かなデザイナーの育成に取り組んでいます。

CG・映像制作

最初に映像制作の基礎的な知識と制作進行の過程に於けるノウハウを学習した後、プロユースの業務機材を使い実践的な制作に入ります。企画書から脚本を起し、実撮影、演出、編集、上映、講評を得て“映像とは何か”、“演出とは何か”を実体験として身につけることで、映像業界で活躍できる人材の育成を行っています。また、昨今の映像コンテンツの多様化を踏まえ、CGやプログラミングによるインタラクティブな要素を取り入れた映像制作、コンピュータとの連携など時代に即した学びの環境が整っています。

コンピュータサウンド

現代ではテレビドラマ、コマーシャル、テレビゲーム等、さまざまな音楽や効果音がコンピュータによって制作されています。それらはいったいどのように作られているのか。また音楽や音響学の知識を基礎にサウンドと現代人の生活にはどのような関係があるのかに迫ります。コンピュータを駆使して音楽を制作する能力と、それを人々の生活に応用する能力をもつ人材と、豊かなサウンド設計能力を持つ人材を育成しています。

コミュニケーションデザイン(広告、広報)

広告広報の世界では、日々新しい技法やメディアが生まれています。又、モノが売れない時代とか、絆つくりの時代などと広告広報のありようも日々変化しており、改めてコミュニケーションのありようが問われています。

専門講義群では、歴史や産業構造・広告広報手法などのアカデミックな分野から、コミュニケーションを生み出す様々な見方や方法について学び、総合型講義群では、グラフィックやムービー・サウンドなどと連動した企画力を身につけることで、実際の社会に役立つコミュニケーション力を持つ人材養成を目指します。

メディア・情報ビジネス

現代の企業ビジネスや行政におけるメディア戦略や情報戦略は、企業経営や行政の根幹を左右する分野となっています。インターネット、マスメディア、DVDパッケージなどのメディアを通じて企業や行政が価値ある情報を創造・発信するために必要なクリエイティブ力、マネジメント力を持つ人材を養成しています。

自己表現力・コミュニケーション力

さまざまなメディアが発達し気軽に人と繋がることが可能になった時代ですが、人間関係の土台となるのはFACE to FACEで肉声や表情を使ったコミュニケーション。デジタルツールの時代だからこそ、自らの企画や思いを効果的に伝える“豊かな表現力”が求められています。どんな仕事においても重要な「人と関わる力」「自分を売り込む力」を持った人材の育成に取り組めます。

主な専門教育科目

- 情報デザイン基礎実習
- コンピュータデザイン実習
- メディアクリエイティブ実習
- CAD実習
- 映像デザイン基礎
- 造形デザイン演習
- プログラミング
- CGプログラミング
- コンピュータサウンド
- メディアワークプロジェクト
- クリエイティブプランニング
- 自己表現
- コミュニケーションデザイン論
- 映像編集理論

専門教育科目に関する資格

- CGクリエイター検定(2級・3級)
 - マルチメディア検定(2級・3級)
 - MIDI検定(2級・3級)
 - CGエンジニア検定(2級・3級)
 - カラーコーディネーター(2級・3級)
 - アートナビゲーター
 - ITパスポート
 - 基本情報技術者
 - イラストレーター クリエイター 検定
 - フォトショップ クリエイター 検定
 - 応用情報技術者
 - パソコン検定試験(準2級)
 - CAD利用技術者(2級)
 - ウェブデザイン技能検定(3級)
 - 知的財産管理技能検定(3級)
 - 技術士補・技術士
- (受験資格は技術士補合格後、実務経験4年以上)
- FE試験(PE1次試験)

専任教員紹介



上岡和弘(教授)

- 専門分野/コミュニケーションデザイン、広告広報
- 研究課題/「クリエイティブで地域の課題と向き合う」・愛知ブランド企業広報のための研究制作・社会的課題解決のための研究制作

就職指導担当



小高直樹(教授)

- 専門分野/作曲・編曲・音楽制作
- 研究課題/コンピュータを用いた音楽制作、伝統音楽とコンピュータミュージックの融合



杉本幸雄(教授)

- 専門分野/映像制作
- 研究課題/CM、ドキュメンタリー、映画、ウェブ広告などの映像作品全般に於ける制作



浅井 淳(准教授/理学修士)

- 専門分野/言語情報処理
- 研究課題/生活情報(文字列、図形)の表象性・伝達性の様相分析



小島一宏(准教授)

- 専門分野/自己表現、言語表現、コミュニケーション
- 研究課題/話芸・映画・アニメ・肉体表現・SNSなど、さまざまな表現の研究、コミュニケーション力を向上させる話術や技法の研究



桐山岳寛(講師)

- 専門分野/グラフィックデザイン、インフォメーションデザイン
- 研究課題/複雑な情報をより多くの人に理解しやすく、活用しやすくすることを目的としたデザイン手法



原田昌明(講師)

- 専門分野/CG、モーショングラフィックス、インタラクティブコンテンツ
- 研究課題/CGを活用した映像制作及びインタラクティブを取り入れたインスタレーションなどデジタルコンテンツの研究



発想力・企画力・マーケティング力・設計力を修得。
使う人の立場に立ったモノづくりで、
使う人にとっての価値を創造。

情報デザイン学科

プロダクトデザイン専攻

時代にフレキシブルに対応できる実践クリエイターの養成を目指して
令和に入り、日本のモノづくりは大きく変革しています。製造業は「モノ」から「コト」へ新たな価値を創造し、グローバルでの生き残りをかけていく時代になります。そしてプロダクトデザイナーに求められる資質や期待も大きく変化しています。本専攻は下記三項目を重視し、実学主義に基づいたカリキュラム編成で“時代にフレキシブルに対応できる実践クリエイターの養成”を目指しています。

1. デザイン力

低学年ではデッサンやスケッチ、木材やクレイなど様々な素材を使ったモノづくり、さらにはグラフィックや映像、音楽など幅広いジャンルを学び、ものの考え方やプロセスを通しデザインの基礎知識、発想力、センスやノウハウを身につけていきます。

2. IT応用力

イメージを形にするツールとしてのCAD技術の習得はもちろん、3Dプリンター、切削系機器など、実践で経験できる環境がそろっています。またプロダクトデザインの範疇を拡大する情報分析、プレゼンテーションやプロモーションツールまで幅広いコンピュータ技術を学ぶことにより、IoT、AIなど将来における新技術に対しての応用力も身につけていきます。

3. 問題解決力とコミュニケーション力

“デザイン＝問題解決である。”を常に念頭に、より良い商品やサービスを提供するために設定された実践的課題を経験し、あるべき姿を導き出す。段階的に難易度を上げ、繰り返し学ぶことにより、問題解決の思考力と人に伝えるためのコミュニケーション力を身につけていきます。

主な専門教育科目

- 情報デザイン基礎実習
- 造形デザイン演習
- コンピュータデザイン実習
- 基礎デザイン論
- CAD実習
- CGプログラミング
- 製品デザイン実習
- 応用CADデザイン実習
- プロダクトデザイン論
- 材料と加工法論
- デジタルプレゼンテーション論
- 空間デザイン論

専門教育科目に関する資格

- CAD利用技術者検定
- CGクリエイター検定
- パソコン検定
- ユニバーサルデザイン
コーディネーター
- 色彩検定
- マルチメディア検定
- プロダクトデザイン検定
- 3Dプリンター活用技術検定

専任教員紹介



佐々木勝史 (教授)

■専門分野 / カーデザイン、トランスポートデザイン、デザイン戦略
■研究課題 / 車、モビリティ全般、スケッチ3D CAD手法の研究



横山弥生 (教授)

■専門分野 / コンピュータグラフィックス、数理造形
■研究課題 / CGによる形態を応用した制作



岡田 心 (准教授)

■専門分野 / 製品企画、プロダクトデザイン
■研究課題 / 伝統産業、素材、技術の特性や応用の研究

就職指導担当



舟橋慶祐 (准教授)

■専門分野 / プロダクトデザイン、三次元CAD
■研究課題 / 三次元CADとデジタルファブリケーションを活用した工業製品や家具のデザイン研究、デザイン・美術史の研究

総合情報学科

経営情報専攻

生きる力と人間力。
これからのビジネス現場で求められるスキルを、
実践的な課題解決型学習を通じて身につける。

経営情報専攻では、“モノづくり王国”と呼ばれる中部地方において、さまざまな業界で企業を支える人材を養成しています。

2012年度に開設された経営情報専攻では、情報コミュニケーション技術(ICT)をベースに、経営、国際、環境、流通といった分野を幅広く学び、それらを積極的に活用できる人材を育成しています。また企業の中で業務を遂行するためには情報、意思、感情を伝え合う人間力が欠かせません。経営情報専攻では、職場において他者とのコミュニケーションを円滑かつ積極的に図ることができる能力を育成するとともに、それらを実践の場で活用できるための環境を用意しています。

経営情報専攻は、経営情報系とスポーツマネジメント系の二つの履修モデルがあり、それぞれの系に応じた人材を育成しています。

経営情報系

経営学、情報学、環境マネジメントに関する科目はもちろん、海外事情A(アジア短期留学)を科目として配置しており、ビジネスのグローバル化に対応できる人材を養成しています。また、少人数教育の下でのアクティブラーニングを取り入れたプロジェクト演習科目を3科目配置して、問題の発見から調査分析を経て解決方法の提案に至る社会人基礎力を養成しています。

スポーツマネジメント系

体育会系の学生を対象としたコースで、経営学、情報学、環境マネジメントに関する科目はもちろん、スポーツマネジメントに関する科目も配置しており、スポーツ実践をベースとした人間形成と同時に、コミュニケーション能力と情報活用能力に長けた、スポーツ文化を通じて社会に貢献できる人材を養成しています。

主な専門教育科目

- 情報学概論
- 会計学
- 情報処理1, 2
- 情報統計学1, 2
- 環境マネジメント1~4
- 入門簿記
- 工業簿記
- 物流論
- 海外事情A, B
- 総合情報プロジェクト演習1~3

専門教育科目に関する資格

- ITパスポート
- ビジネス能力検定(3級)
- 簿記(2級, 3級)
- TOEIC
- 秘書技能検定
- ロジスティクス・オペレーション(3級)
- 環境社会検定(ECO検定)

専任教員紹介



小澤茂樹 (教授/博士(商学))
■専門分野/物流論、交通経済学
■研究課題/効率的な貨物輸送体系(物流体系)の構築

就職指導担当



齊藤慎太郎 (教授/修士(体育学))
■専門分野/体育方法学、バイオメカニクス
■研究課題/ハンドボール選手の体力特性



佐藤壮一郎 (教授/修士(健康科学))
■専門分野/健康体力学
■研究課題/ハンドボールの一貫指導について



大東憲二 (教授/博士(工学))
■専門分野/環境地盤工学、環境アセスメント
■研究課題/大規模開発における環境影響評価



西崎雅仁 (教授/経営学修士)
■専門分野/経営学
■研究課題/製造業における技術経営



伊藤 僚 (准教授(体育学))
■専門分野/環境生理学、体温調節反応
■研究課題/降雨や風が運動中のヒトの体温・エネルギー代謝に及ぼす影響について



学部での学びをさらに高め、
職業人としての高度な専門性と豊かな人間性を育む。

大学院

大学院の沿革

わが国の産業が成熟・高度化した中で、これまで以上に高度で質の高い専門知識を修得した人材を必要とする社会的状況となっています。これに応じて本学は1990年4月に大学院を設置し工学研究科に3専攻からなる修士課程を開設しました。この実績をもとに1995年4月には、博士後期課程の材料・環境工学専攻を開設。また学部の改組に関連して2005年4月には情報学部の情報学研究科を開設し情報学専攻を設置。2006年4月には工学研究科の建設工学専攻が建築学専攻と都市環境デザイン学専攻の2専攻として開始。このように本学の大学院は設置と改組を行うことで、社会や産業の変化に対応するとともに、高度な技術的人材の要請に応えています。

工学研究科 博士後期課程

材料・環境工学専攻(就職指導担当：渡邊慎一 教授)

博士後期課程材料・環境工学専攻は、修士課程のいずれからも進学できます。この専攻では修了後、産業社会や研究教育分野においてリーダーシップを発揮する事ができる高度な技術力と豊かな見識を併せ持つ人材の育成を目指します。このため材料・環境工学に関する幅広い基礎知識の上に成り立つ高度な専門知識を修得することで、未知の分野を開拓し得る創造力と、課題を深く理解して取り組むことができる能力を活かし、主体的で柔軟性を持ち俊敏に行動できる高度な技術者を目指します。なお指導教員は院生の立場や履歴に応じてきめ細かく個別的に指導しています。

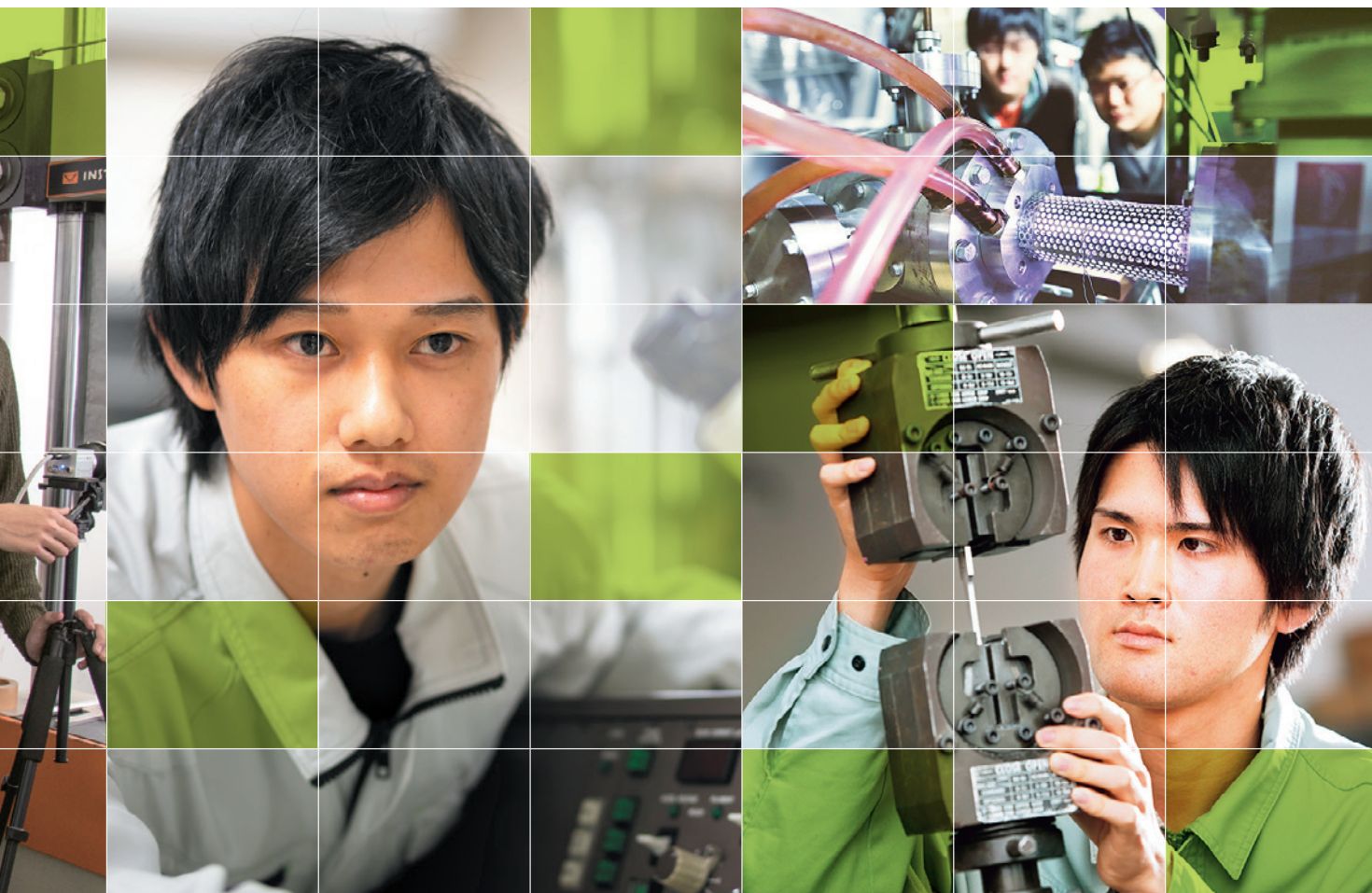
工学研究科 修士課程

機械工学専攻(就職指導担当：西脇武志 教授)

機械工学専攻では、基礎学力を十分に身につけ、優れた応用開発能力を持ち、創造性の豊かな機械技術者の養成を目的としています。このため、学部での基礎学力を充実・高度化させるとともに、主動的な課題解決能力と創造性を育成します。また、グローバルな視点を持ち、コミュニケーション能力とリーダーシップを備えた人材を養成します。

電気・電子工学専攻(就職指導担当：橋本雄一 教授)

電気・電子工学専攻では、ますます多様化する産業・社会の要請に対して、柔軟かつ確実に対応できる技術者の育成を目指しています。このため、カリキュラムは学部教育から連続性を持たせた構成となっており、エネルギー・制御・材料の各専門性の高い教育を行うとともに、幅広い知識と高い教養を備えた人材を養成しています。



工学研究科 修士課程

建築学専攻(就職指導担当：萩原伸幸 教授)

建築学専攻のカリキュラムは、より専門性の高い内容の科目に加え、建築実務にも関連した科目から構成されています。社会のニーズにたえうだけの独創性と柔軟性に富み、かつ倫理観の高い技術者を世に送り出すことを本専攻の目的としています。建築学、環境全般に関する幅広い知識を身につけ、生活と執務の器である建築において環境性能と質の高いデザインを持つ「建築環境」を創出するために、企画・デザインができる人材を養成します。

都市環境デザイン学専攻(就職指導担当：鷺見哲也 教授)

都市環境デザイン学専攻は、人間の社会活動・生活の場である「都市」において、持続的発展可能な「環境」の創出や、安全・安心なまちづくりのため、社会基盤施設を広い視野から「デザイン」(＝どのように作るのかを明確な思想と技術をもって決定)できる人材を養成しています。

「土木・環境コース」と「かおりデザインコース」からなり、「土木・環境コース」では、構造・材料学、地盤工学、水・環境工学、都市・交通計画学等の専門性を高め、国土・地域・都市の望ましい未来を想定して社会基盤整備に携わることができる技術者教育を行っています。「かおりデザインコース」では、におい・かおりの測定・評価・成分分析、におい・かおりの制御法、心理生理的影響等に関する専門性を高め、快適な住環境等が創造できる力を身につけるための教育を行っています。

情報学研究科 修士課程

情報学専攻(就職指導担当：不破勝彦 教授)

情報学専攻は、「情報システムコース」、「情報デザインコース」、「経営情報コース」の3つのコースから構成されています。近年、コンピュータならびにコンピュータ応用の情報処理が、周辺の科学技術と融合しながら、めざましく発展しつつあります。そして、生産活動はもとより流通・販売、文化・芸術、生活環境を含む人間社会に大きな変革をもたらしています。これらの変革から生じる多種多様なニーズに応えるため、高度な情報通信技術を駆使して社会に貢献できる人材が求められています。このため、本専攻では、コンピュータの基本原理と先進技術を理解して情報処理システムを開発・駆使できる人材、コンピュータを駆使して情報コンテンツ制作や製品デザインができる人材、経営と情報の複眼的な視点から社会や経済・経営における様々な問題を解決できる人材を養成しています。

